

## 質問回答

NO.	質問	回答
1	「仕様書 2. 業務の内容と実施方法（5）TEMM24 事務レベル会合（プレTEMM）開催支援業務」及び「仕様書 2. 業務の内容と実施方法（7）TEMM24 フォローアップ実務者会合（「ポストTEMM24」開催支援業務）について、現地開催との記載であるが、オンライン開催となる可能性はあるか。	現時点では現地開催を想定していますが、今後の相手国との協議により、オンライン開催となる可能性はあります。
2	「仕様書 2. 業務の内容と実施方法（3）TEMM24 における三カ国環境ビジネス円卓会議出席者への支援等」について、「日数1日」「日本側の発表者（最大6名程度）」とあるが、昼休憩または小休憩を挟むという理解でよろしいか。 その場合、本業務においてケイタリングの手配をする必要はあるか。	昼休憩または小休憩を挟みます。オンライン会議を想定しており、ケイタリングを手配する必要はありません。
3	「仕様書 2. 業務の内容と実施方法（3）TEMM24 における三カ国環境ビジネス円卓会議出席者への支援等」について、会議言語はそれぞれの国の言語という理解でよろしいか。その場合、本業務で各言語に必要な同時通訳の手配を行うことになるか。	会議言語については、相手国との協議・調整によります。また、相手国との協議・調整により、同時通訳手配が必要となる場合があります。
4	「仕様書 2. 業務の内容と実施方法（4）TEMM24 におけるユースフォーラム出席者への支援等」について、「（イ）ユースフォーラム派遣者の募集と選考補助」の末尾に昨年度の仕様書では、「選考された者に対して参加の意思を確認した上で、参加者本人から参加承諾書を回収し（未成年の場合は保護者の同意書も合わせて回収する）、環境省担当官へ提出する。」との記載があったが、今年度は不要という理解でよろしいか。	環境省担当官が直接参加承諾書を回収することを想定しているため、今年度の業務には含まれておりません。
5	「仕様書 2. 業務の内容と実施方法（4）TEMM24 におけるユースフォーラム出席者への支援等」について、ユースフォーラム会場に設置する為のバックドロップの制作は本業務においては不要という理解でよろしいか。	お見込みの通りです。